

環境調査結果のお知らせ

令和3年2月10日13時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が16.0～16.8℃、塩分が34.7、溶存酸素量が6.9～8.5mg/Lでした。
湾内の透明度は4.0～11.0mで、有毒種のアレキサンドリム属が最高で542 cells/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は16.0～16.8℃、塩分は34.7でした。
前回調査時(R3.1.21)と比較して、水温は全層で0.7～1.0℃低下しました。塩分は全層で0.1低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.9～8.5mg/Lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.2～0.6mg/L増加しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は4.0～11.0mでした。
検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリム属が最高で542cells/mL確認されました。アレキサンドリウム属の赤潮が野見漁協前、ドック場前で確認されました。アレキサンドリウム属には平成29年に養殖魚の被害原因となった種類であるアレキサンドリム・レイが含まれていましたので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

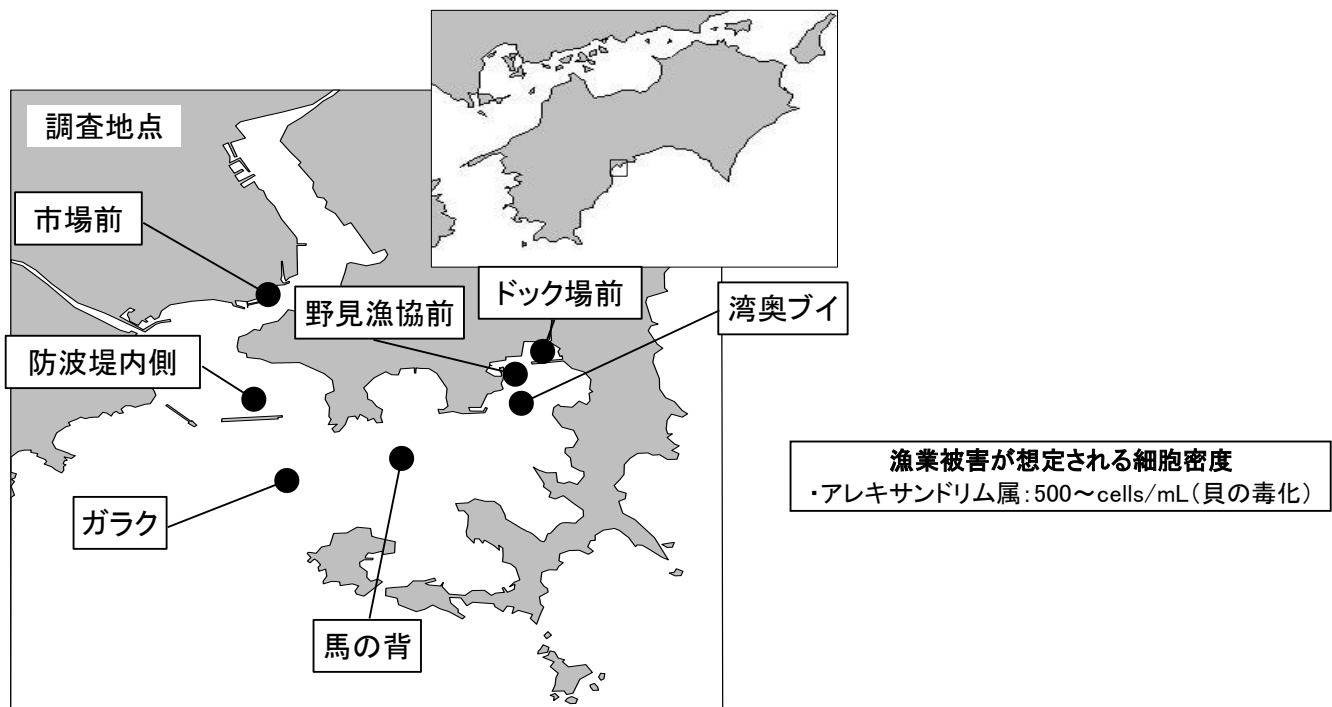


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.1.21)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	16.5	16.8	16.7	16.7	17.6	▲ 0.9	16.0	15.7
2m	16.4	16.8	16.8	16.7	17.6	▲ 0.9	15.8	15.7
5m	16.3	16.5	16.8	16.5	17.5	▲ 1.0	15.9	15.6
10m	16.1	16.3	16.7	16.4	17.4	▲ 1.0	15.6	15.7
B-1m	16.0	16.1	16.7	16.3	17.0	▲ 0.7	15.5	15.9

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.1.21)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	34.7	34.7	34.7	34.7	34.8	▲ 0.1	34.4	34.2
2m	34.7	34.7	34.7	34.7	34.8	▲ 0.1	34.4	34.3
5m	34.7	34.7	34.7	34.7	34.8	▲ 0.1	34.5	34.3
10m	34.7	34.7	34.7	34.7	34.8	▲ 0.1	34.4	34.4
B-1m	34.7	34.7	34.7	34.7	34.8	▲ 0.1	34.4	34.5

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.1.21)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	7.9	7.6	7.0	7.5	7.3	0.2	8.5	8.1
2m	7.9	7.7	7.0	7.5	7.3	0.2	8.7	8.2
5m	8.5	7.9	7.0	7.8	7.2	0.6	8.6	8.2
10m	8.4	7.5	6.9	7.6	7.1	0.5	8.7	8.0
B-1m	7.7	7.7	6.9	7.5	7.1	0.4	8.2	8.0

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.0	24.3	16.2	16.0	14.0
透明度	7.5	9.0	11.0	6.0	4.0
前回(1/21)	13.0	13.0	15.0	12.0	5.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		アレキサンド リウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	5	5
	2m	12	6
	5m	121	40
馬の背	0m	10	40
	2m	2	20
	5m	2	80
ガラク	0m	0	20
	2m	0	40
	5m	3	10
津波防波堤内側	0m	4	150
	2m	3	199
	5m	10	360
市場前	0m	2	70
	2m	0	40
	5m	0	200
野見漁協前	1m	296	-
ドック場前	1m	542	-